

まちの日記帳



小さな畑 大豊作 びくに保育所園庭で収穫体験

9/24

びくに保育所（園児24人）は、園庭の花壇に植えた野菜やサツマイモの収穫を行いました。

今年6月に園児が畑を耕し、草を取り、種まきや苗植えをした畑には、きゅうりやピーマン、ミニトマトのほか、今年は初めてサツマイモを植え付けました。力を合わせて掘り出したサツマイモは大きなものから小さなものまで様々。園庭の小さな畑は大喜びの大豊作となりました。収穫したサツマイモは、10月6日に保育所で開催された「収穫祭」でさつま汁を作り、秋の味覚を堪能しました。



もしもに備えて 美国小学校PTA救急教室

10/1

美国小学校PTAが主催する「救命講習会」が美国小学校体育館で開催され、保護者20人と小学生5人が参加しました。北後志消防組合積丹支署の消防士3人を講師に、救急車の使い方やAEDを使っての心肺蘇生法などの講習を受けました。

参加者は、身近な人にもしものことがあったときにあわてずに対処できるよう、ひとつひとつの動作を確認しながら終始真剣に受講していました。



ナイスショットに ナイスプレー！ 町内ゲートボール大会

10/14

第26回町内ゲートボール大会がふれあいゲートボール場で行われ3チーム、16人が参加しました。

参加者は、日頃の練習の成果を発揮して熱戦を繰り広げ『ナイスショット』を連発していました。

大会結果は次のとおりです。

優勝

美国ゲートボール愛好会

（代表 熊本 和子さん）

準優勝

入舸ゲートボール愛好会

（代表 川井 順應さん）

第三位

余別ゲートボール愛好会

（代表 新井田 明見さん）



商店街に歓声と笑顔 はしご酒大会

10/14

積丹飲食店組合（別所範一会长）は、日頃の感謝とまちの活性化を図るため、飲食店10店の協力のもと、第6回目となるはしご酒大会を開催し、町内外から210人が参加しました。

4件の店を制限時間1時間15分で渡り歩き、ゴールの総合文化センターでは景品134本を用意した大抽選会が行われました。

ほろ酔い加減の参加者からは、抽選のたびに大きな歓声と拍手が上がり、当選者の笑顔あふれる「千円札つかみ取り」には3人が挑戦。最高獲得額は3万8千円でした。



勝利へアタック
第19回B&G財団会長杯
バレーボール大会

10/19

第19回B&G財団会長杯バレーボール大会が海洋センターで開催され、古平町からの出場2チームを含む6チーム36人が参加しました。各チームとも優勝を目指して白熱した試合が展開され、海上は熱気に包まれました。

大会結果は次のとおりです。
男子の部

優勝 クジーズ

(代表 久慈 仁さん)

準優勝 セーコマラバース

(代表 田代 輝さん)

女子の部

優勝 バリ子

(代表 佐藤 千香子さん)

準優勝 ガンパローズ

(代表 青木 登紀子さん)

第3位 フルビラーズ1

(代表 佐々木 順子さん)



森林機能を学習

森・海HUGくみだいの活動

10/21

栄養豊かな水をつくるため、余別川上流部に造林地(神岬団地)で保育作業(裾枝払い)を体験する森林学習が行われました。

参加したのは、余別小学校児童、東しゃこたん漁協積丹支所青年部・女性部など合計14人。石狩森林管理署から4人の講師を招き、のこぎりを使って無数に伸びる枝を一つ一つ丁寧に切り落としました。

子どもたちは重労働に悪戦苦闘しながらも楽しみながら、余別川が自然豊かに流れ、海に栄養を注ぐための森林についての学習を深めました。



出来栄之上々!

第5回少年教室「そば収穫体験」
第6回少年教室「そば打ち・サツマイモ収穫体験」

9/23・10/16

第5回及び第6回の少年教室が開催され、そばの収穫とそば打ち体験がそれぞれ行われました。

収穫体験には25人が参加し、春に植えたソバの収穫を行いました。

参加者は、十分に熟したソバの実を落とさないように丁寧に収穫し、収穫の喜びと大変さを体験。

後日行われたイモ掘り体験とそば打ち教室には、27人が参加し、自分の顔よりも大きなサツマイモの収穫や前回収穫したソバの実を石臼で粉に挽き、そば打ち体験と打ち立てのソバの試



▲ソバ収穫体験
(美国町：商工会隣)

▼ソバ打ち体験



食を行いました。
子どもたちは植え付けから収穫、調理まで一連の作業を体験し、食の苦労と喜びを学習する機会となりました。